

看護学研究科教授会議事録 (1月6日定例)

開催場所	3階 大会議室	開催日時	平成22年1月6日(水) 17:37~20:21
出席者	出席21名/22名 (教授) 安齋, 伊藤, 遠藤, 小野, 桑名, 塩野, 武田, 土屋, 徳永, 中塚, 長澤, 真覚, 宮林, 山田, 吉田 (准教授) 桂, 苅部, 佐々木, 高橋, 萩原, 原 (事務部) 中村, 佐々木, 小山		
欠席者	(教授) 関戸 (准教授) -		(職階50音順・敬称略)
議 事 内 容			
<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>【1】審議事項</p> <p>(1) 大学院看護学研究科長候補者の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院研究科長選考規程に基づき, 宮林教授, 山田教授, 吉田教授を立会人に選出し, 研究科長候補者の選出選挙が実施された。 ・出席者21名全員が投票を行った結果, 第1回目の投票において, 武田淳子教授が有効投票数の過半数を得たため, 武田淳子教授を候補者とし, 学長に対し研究科長候補者選出結果を報告することが承認された。 <p>(2) 大学院看護学研究科教授会運営内規の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営内規第9条第2項で, 議事録の承認が教授会とされているが, 隔月開催のため, 議事録承認も隔月となっているものを運営会議でも承認できるようにし, 公開までの時間を短縮する改正案について説明された。 ・施行予定日は, 第17条の規定から理事会への届出・承認が必要なため, 直近理事会開催予定日1月27日改正となること, 並びに運営会議承認後すぐに署名及び議事録確定できるよう, 議事録署名人は当該教授会において, あらかじめ指名することを12月22日開催運営会議で承認済であることも説明された。 ・改正案及び1月6日議事録署名人を佐々木准教授とすることについて, 承認された。 <p>(3) 教授会議事録(7・9・11月定例)の確認及び議事録署名人の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月8日, 同年9月2日及び同年11月4日定例教授会の議事録について承認され, それぞれ桂准教授, 苅部准教授, 桑名教授を議事録署名人とすることについて承認された。 <p>(4) 平成22年度非常勤講師の委嘱案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部人事作業中のため委嘱依頼を留保している講師を除き, 原案どおり承認された。 ・非常勤講師のみの授業科目のシラバス作成については, 事務部から講師あて依頼することが確認された。 <p>(5) 博士課程設置による規程等改正案について</p> <p>①「履修規程」案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明されたあと, 別表(前期2年の課程)中「高度専門職業人養成コース」が設けられ, WOC看護実践・看護管理・先端助産実践の専門分野に演習Ⅱ・課題研究が創設される案について多くの意見等が出された。 ・研究科長から, 履修規程案第12条の学位論文, 特に博士論文について, 運営会議での検討過程において, 学位を与えるか否かを判断するのに秀・優・良・可・不可の段階評価があるのは, いかげなものが議論になった。事務部において, 他大学院の例を調べた結果からも学位を与えるか否かの判断だけで段階評価まで行っていないところが多かった。本学大学院事業構想学研究科においては, 今回案と同じく段階評価を行う規定であるが, 重要な規程なのでこの機会にさらに情報収集を進め, 不合理な所については, 見直していきたいと説明があった。 ・履修規程案について, 2月10日臨時教授会で確定することとし, 検討の方向性については, FDでの検討結果を生かして, 高度専門職業人養成コースとして演習を強化していくこと及び課題研究を選択できるものとするについて承認された。今後気付いた点があった場合には, 文言含めて教務委員長まで連絡することとされた。 <p>②「学位論文審査要綱」案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明され, 原案どおり承認された。 <p>③「学位論文審査委員会の運営に関する申合せ」案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明され, 原案どおり承認された。 <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 			

議 事 内 容

【2】報告事項

(1) 教授会運営会議

①開催結果について

②11月11日開催結果から

ア 博士課程設置による学内作業実施体制等について

- ・11月10日開催博士設置準備委で抽出された、次の検討課題について、審議したことなどが報告された。

○入学者選抜試験の作題

- ・方針を決定し、面接体制・採点基準など以降の入試作業は、入試委員会において検討・実施する。

○履修規程等の改正、○博士前期課程のコース名及びカリキュラムの変更、○履修ガイドの改正

- ・教務委員会で作業を開始した。

○学生研究室の整備

- ・整備予定箇所であるメディカルラボ3について、まずは学部等の使用予定を確認し、申請内容を基本に整備する。

○その他

- ・博士課程が設置されることのチラシを広報委員会で作成する。

イ 大学院看護学研究科博士後期課程入学者選抜試験実施要項について

- ・学生募集要項案が出来上がり、第1回目の検討を行い、博士後期課程の概要を知らせるページを追加するなどの修正を加えたことなどが報告された。

③11月20日開催結果から（臨時開催）

ア 大学院看護学研究科博士後期課程入学者選抜試験実施要項について

- ・学生募集要項を11月下旬に早期配布できるよう、次回定例の開催を待たず開催し、博士後期課程の概要を知らせるページをわかりやすくするための修正や様式中に指導希望教員名を書きやすくする修正をしたことが報告された。

④11月25日開催結果から

ア 大学院看護学研究科博士後期課程入学者選抜試験実施要項について

- ・学生募集要項について、印刷前の最終確認を行い、原案どおり承認したことが報告された。

イ 博士課程設置による規程等改正について

- ・履修コースの変更許可申請期日について、学生の検討時間が確保でき、標準修業年数内での変更が可能となるように、期日を7月から1月に修正し、新たに規定する「研究指導教員」をわかりやすくする修正を行ったことが報告された。

⑤12月2日開催結果から

ア 博士課程設置による規程等改正について

- ・履修規程案の前回修正結果を確認したほか、論文審査要綱案及び申合せ案について審議し、要綱案中の様式を書く側・見る側双方わかりやすくなるように、修士・課題研究・博士毎に独立させる修正及び申合せ案では、論文審査委員会での指導教員の出席方法について修正したことが報告された。

⑥12月22日開催結果から

ア 議事録署名人の指名について

- ・運営会議議事録署名人を議事録承認後ではなく、当該運営会議であらかじめ指名する運用とすることとしたことが報告された。
- ・教授会議事録署名人についても同様としたことが報告された。

イ 大学院看護学研究科長候補者選挙日程について

- ・2年間の任期満了に伴う研究科長選出のための教授会開催通知を、研究科長選考規程第4条に基づき所定の日数（14日）を置いて行うこととしたことが報告された。

ウ 平成22年度履修ガイドの作成方針について

- ・12月17日開催された教務委員会での検討案を審議し、ガイド中の履修要項を博士前・後期それぞれ示すこととすることや、作成分担を決定したことが報告された。

議 事 内 容
<p>エ 平成 22 年度年度計画の進行管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長室による評価・コメントへの対応案について，研究科としての計画進行状況を確認したことが報告された。 <p>オ 平成 22 年度大学院看護学研究科予算編成基本方針及び進め方等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度法人予算編成方針等（11/25 付）及び 2 次補正の基本的な考え方等（12/15 付）について説明されたほか，H21 では博士後期院生専用研究室の整備費用，H22 では前年比 70%増の予算化が見込まれる説明があったことが報告された。 ・看護学研究科としては，博士後期課程設置に要する費用をまず確定させ，残った部分で何を優先すべきか費用対効果も考えながら計画的に予算化することとされたことが報告された。 ・毎年度安定して予算を確保する必要もあり，具体的には，院生室のパソコン・プリンターをリース化する検討を行うこととしたことが報告された。 ・各担当科目に係る予算については，予算委員長に提出するように再度働きかけることとしたことが報告された。 <p>カ 教務委員会からの報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度非常勤講師の委嘱案について，原案どおり次回教授会に提案することとしたことが報告された。 ・平成 21 年度学位論文審査委員の選任及び審査会設置方法について承認し，次回運営会議で審議することとしたことが報告されたほか，今後のスケジュールについて説明された。 ・博士課程設置に伴う規程等改正案について，運営会議での検討案に修正なく審議が終了した旨報告されたが，履修規程案中の学位論文に対する 4 段階評価案について意見交換があり，参考となる他例などを調べ，1 月 6 日教授会で検討することとしたことが報告された。 ・平成 22 年度科目等履修生への提供科目照会等，作業の進行状況について確認したことが報告された。 <p>⑦資料により，科目等履修生への提供科目について再度確認を求めたところ多数修正意見があり，後日修正の上再度確認することとされた。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試委員長から，2 月 6 日に実施される博士後期課程入学者選抜試験のスケジュールについて説明された。 <p>【3】次回開催日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回教授会は，修了判定を行う必要があるため，平成 22 年 2 月 10 日（水）13 時から臨時開催することとされた。 <p>議事録署名</p> <p style="text-align: center;">氏名 武 田 淳 子 印</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p style="text-align: center;">氏名 佐々木 久美子 印</p> <p>以 上</p>